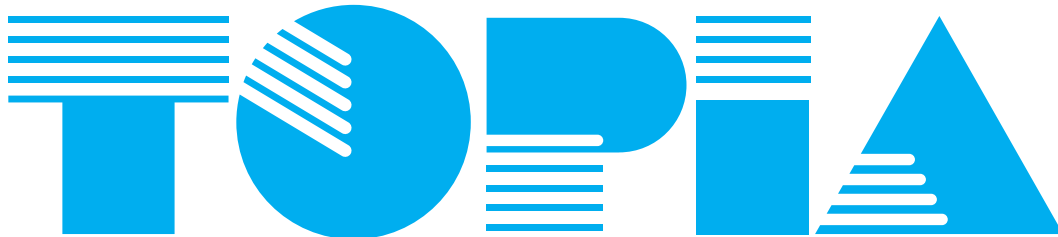


第69号



2017.03



TOKUSHIMA PREFECTURAL INTERNATIONAL EXCHANGE ASSOCIATION

発行／公益財団法人徳島県国際交流協会

TEL：088－656－3303



平成 29 年 2 月 26 日（日）に多言語コミュニティ通訳ネットワーク共同代表の飯田奈美子氏を講師としてお迎えしコミュニティ通訳研修を開催しました。当協会の語学ボランティアの方などが参加して下さいました。参加をしていただいた方の感想を紹介いたします。

コミュニティ通訳に参加して

坂部由香里

研修会の第一部は徳島県防災人材育成センター活動推進員の横田幾代氏による防災出前講座が行われました。横田氏のお話では南海地震は 30 年以内に 70%、50 年以内には 90% の確率で起こるということです。危険を知らせる情報を理解できない外国人も災害弱者です。2020 年に開催される東京オリンピック・パラリンピックでは多くの外国人が来日すると予想されています。大災害が発生したら、どうすればいいのでしょうか。中には地震を知らない国で育った人もいます。「もし自分が海外で突然大きな揺れに襲われたら」と考えるだけでもゾッとします。

実は東日本大震災の際に、私とその前年中国の大学で日本語をお教えた研究者 30 名が来日していました。多くは関東にいましたが、仙台で被災した人もいました。発災時、QQ（中国の方がよく使うメッセージングアプリ）で安否確認をしました。会話のやりとりから、もの凄い恐怖を感じていることが手に取るように伝わってきたのを今でもよく覚えています。外国人を災害から守る取り組みは今後更に重要度を増すでしょう。

第二部は「コミュニティ通訳の注意点と倫理規程について」多言語コミュニティネットワークの飯田奈美子先生による講演が行われました。医療通訳においては、高い語学力と通訳のスキル、分野別の知識が求められるのは言うまでもありません。通訳者として活動する場合に、どのような行動をとればいいのか判断に迷う場面があります。飯田先生は「医療通訳士倫理規程」を私たちにご紹介くださいました。提示された具体的な事例について、それぞれの場面でどのように行動すべきかを倫理規程をもとにグループで考えました。今後通訳活動をする際に規程に照らし合わせて行動することができるので、精神的なストレスを軽減するのにも役立ちそうです。

また、学校場面と医療場面のロールプレイもしました。私のグループは韓国語でした。実際にやってみると普段使わない専門用語も出てきて思うようにいかず大変でした。それでもグループで力を合わせて頑張り、その中から「気づき」や「課題」がいくつか見えてきました。通訳を円滑に進めるためには、事前準備での資料集めや単語帳の作成が非常に大切であることがよくわかりました。

それから、「メモをとる」「長い文を切る」「わからない単語が出てきた時の対処法」等基本的なことも学びました。特に「メモとり練習」では先生が読み上げた文章のメモとりをしたのですが、要点を把握する為のいい訓練になりました。メモをとるテクニックや自分で書いたメモの取り扱いなどについても細かく教えていただけて良かったです。

今回の研修から学んだことを是非実施し、自分のスキルアップに向けてがんばっていきたくて強く思いました。

～県内国際交流団体活動紹介～

NPO徳島ネパール友好協会の近況報告

NPO 徳島ネパール友好協会
天野 民代

1996年の設立以来、ネパール・ラムジュン郡を中心に小型水力発電所の建設、救急車・消防車の寄贈、LED家庭用照明システムの導入や索道を建設。またネパール少年少女の徳島ホームステイ、ネパール大地震の復興支援など様々な活動を実施してきました。20年の活動を経て昨年、特定非営利活動法人（NPO）に移行しました。

2015年に起きた大地震では、震災直後より募金活動を展開し、徳島県民の皆さんをはじめ県内企業、更には全国各地から寄付をいただき、これまでに620万円余りの支援をすることができました。ホームステイで交流した宮井小学校の子どもたちが自主的に生徒会で募金活動をして下さった上、一緒に街頭にも立った徳島北高校の生徒さんたちのうれしい協力がありました。街頭募金では市内の農家に研修に来ていたネパール人夫妻もご一緒しました。また、白杖をついているお母さんと幼い男の子が一度通り過ぎたのですが、募金呼びかけの声にお母さんが立ち止まり、男の子が500円玉を届けてくれたのには胸がいっぱいに。被災直後にはカウンターパートを通じてお米や塩、毛布また消毒液や石鹸といった生活物資を中心に、その後雨よけの波形シート、さらには照明と携帯電話充電のための太陽電池パネルといった物資の支援を行って来ました。2016年2月には復興支援訪問団として8名がネパールを訪問しました。今後はコーカナ女性協会（女性の自立を応援する訓練所）に支援を継続していく予定です。

今年1月には県立21世紀館で1週間、当協会のこれまでの20年にわたる歩みを広く県民の方々に知っていただくと共に、今後の新たな活動展開に向けた協力・支援を得ることを目的に、活動の写真や物産展、索道模型などの展示・映像と合わせて記念講演を開催しました。「新たなネパールと徳島の友好に向けて」と題してネパール徳島友好協会のビシュヌ・ゴバル・シュレスタ会長が講演し、ジバン・オリンピック委員長からの訴えもありました。講演は小さな会場でしたが満員となり、1週間の来場者数も芳名録で800人を超え、募金も10万円余と盛況でした。アンケートも大勢の方が感動と期待を記入下さりうれしい事でした。

3月にはダマク市への消防車寄贈事業を準備しています。無事に贈呈、消防車の操作方法伝達講習がスムーズに行えることを願うものです。



募金活動の様子



活動写真展と物産展の様子

TOPIA 職場体験・インターンシップの受入

当協会では、国際交流や国際理解に関心を持つ県内の中学生、高校生及び大学生の職場体験を受け入れています。当協会の国際交流員や窓口相談員、JICAの国際協力推進員などから国際交流・協力について学ぶとともに、外国人のための日本語教室への参加や外国人観光客への案内などを通じて、外国人の方と実際にコミュニケーションを図る体験をしてもらっています。

平成28年度は中学校5校、高校1校、大学3校、合計31名の生徒・学生を受け入れました。職場体験をした生徒の皆さんの感想から、その一部を紹介します。

富岡東中学校 3年生

普段の生活では出会う機会があまりないネパール、中国、ドイツなどからの方と出会い、交流することができました。皆さんとても親切にお話をしてくださり、とても良い経験ができました。職場体験を終えた今、自分の心も成長できたと思います。様々な国にはそれぞれの文化があり、それにあった対応をするのは、とても大変なことだと知りました。また、自分自身が外へ出て行き、いろいろな事を体験することが大切なことだと知りました。

この2日間でたくさんのことを学び、そして多国籍の方と出会うことができ本当に良かったです。この経験を生かして、将来に繋げていきたいと思っています。

富田中学校 2年生

職場体験をさせていただいて一番印象に残ったことは、日本語教室です。いろいろな国の人たちと共に日本語を学ぶことはとても楽しかったです。

他にも、JICAについて教えてもらいました。人と人が助け合うことの大切さや、そうすることでの可能性を知ることができました。また、援助に行っているけど、そこで現地の人々から学ぶこともあったというのを聞き、いろいろな角度から物事を見ることが大切だと思いました。

今日、たくさんの知識や経験を聞かせていただき、体験させていただいたことをこれからの人生に活かしていけるように頑張ります。

富田中学校 2年生

テレビのニュースで見るだけだった外国のいろいろな文化等がとても身近に感じられました。国際交流協会の方々が教えてくださったこと、一つ一つが日本しか知らない私には、とても新鮮に感じられました。ドイツの食べ物や観光地、JICAの活動のこと、1日という短い期間に、とても多くのことを知り、考えることができました。日本は、多くの国に支えられ、物のあふれる豊かな国になりました。JICAの活動のように、他国から頂いた恩を返していくことは、素晴らしいと思います。将来、大人になったら、外国に旅行に行ったり、支援活動をしたりできます。いろいろな可能性がある今のうちに、英語の勉強も頑張ろうと思いました。



3月に3人の方がTOPIAでの任期を終えられました。在任中は徳島県の国際交流などにたくさんご尽力いただきました。みなさん、これからのご活躍を期待しております！

出会いも別れも、感謝

徳島県国際交流員 劉 点

今

年もまた桜の咲く四月が訪れました。この桜が舞い散るころ、私も徳島県国際交流員としての2年間の生活を終えることになります。故郷のように温かい徳島に感謝します。そして、この2年間いつも辛抱強く私を受け入れ、優しく支えてくださった徳島の皆さんに感謝します。

2年前、初めて徳島に着いた日は、雨がしとしとと降り続いていました。新しい同僚が運転してくれる車に乗り、阿波おどり空港を出た私は、緊張と興奮で胸がいっぱいでした。外の景色を見つめながら、これから、この街で始まる新たな生活を想像していました。今振り返ると、あの日からの毎日がまだ昨日のここのように、ありありと目に浮かんで、まるで「初めまして」と言ったとたんに、「さよなら」とまた言わなければいけない気持ちです。2年間って、こんなにも短いものだったのですね、瞬く間でした。

2年前、初めて徳島に着いた私は、徳島のことをほとんど何も知りませんでした。しかし、国際交流員の仕事に携わり、資料の翻訳、会議の通訳、訪問団の視察のアテンド、『阿波生活』の出版など、多岐に渡る仕事を通じて、徐々に生き生きとした徳島のイメージが明確になってきました。2年間毎日、私は徳島について様々な情報をスポンジのように吸収してきました。2年間とは思えないほどの、いろいろな体験をさせていただきました。そして、目の前にお別れの日が迫ってきた時、初めていつの間にか徳島と徳島の皆さんのことを深く愛していたことに気がつきました。2年間って、

こんなにも長いものだったのですね。徳島での数えきれない思い出を、これからの日々じっくり味わっていこうと思います。

出会いに感謝したい。徳島や徳島の皆さん一人ひとりが私の人生にかかわってくれて、ありがとう。皆さんと一緒にやり遂げた仕事や体験を忘れません。緊張したり、爆笑したりした日々を忘れません。そして、皆さんにも感謝したい。皆さんの仕事に注ぐ情熱と厳しい態度が私の心に火をつけ、力となりました。皆さんの生活に対するこだわりと愛情も私を刺激し、これからの人生をもっと充実させていきたいと思わせてくれました。

最後に、別れにも感謝したい。別れがあるからこそ、出会いの大切さと思い出の貴重さがより分かるようになりました。そして、別れは、私に新たな期待も与えてくれました。それは、皆さんと再会することです。皆さんとまたお会いできる日を心から楽しみにしています。



左から(森さん 劉さん 井上さん)

トピアでの勤務を終えて

長期社会体験研修生 森 聖子

時

が経つのは早いもので、一年間のトピアでの仕事が終わりました。中学校現場と違う面もありましたが、職場の方々の親切な助言で一つひとつの仕事をやり遂げられたことに感謝しております。そして、トピアで出会った世界中の方々から、机上では学べない数々の貴重なことを教えていただいたことも、また大きな喜びです。

トピアでは、まず学校に関わる業務として、県市町村・教育機関等へ当協会登録講師を派遣し、実際に、私も小中学校の交流会に参加させていただきました。そこで、外国人講師の世界各地の国のお話や音楽・舞踊などを通して児童・生徒が生き生き学習する姿や、さらに学習後に送ってくれた心温まるお礼状や感想文に、講師と共に大きな感動をいただきました。

また、中・高・大学生の職場体験や進路学習でも同様に、真摯な態度で取り組む姿勢に、こちらが大きなエネルギーをもらいました。中でも「トビタテ！留学JAPAN 国内インターンシップ」では、ここでの実習が、直接留学事前国際理解学習に効果的に結

びつき、改めてトピアの事業の有効性に気づかされました。

そのほかにも、国際理解支援フォーラムの企画・運営・開催、日本語教室での指導、「One World」子ども支援事業の実施、日本語弁論大会の準備、徳島大学での「国際協力論」の聴講、そして外国人の方々への観光案内など、業務のどれを取り上げても奥深く、トピアでしかできない体験をさせていただいたことを感謝しております。

この一年間で、たくさん出会った方々の様々な世界の文化や習慣、たくましい生き方は大きく私の視野を広げてくれました。「目から鱗が落ちる」という言葉がありますが、私なりに見えてくるものがあり、トピアに来る前と後では明らかに、多文化についての理解の深さも違います。今回学んだことを、しっかり学校現場で活かしていきたいと思っております。

本当にありがとうございました。

There is no goodbye! Only see you later!

クレア臨時職員 井上真太郎

何

も分からずにあたふたと焦ってばかりいた日がまるで昨日のように思えますが、あっという間に一年が経ち、お別れの挨拶をしないといけなくなりました。この一年間、皆様に支えられながら、たくさんの方と出会い、学び、そして笑い合いながら、仕事を務めさせていただきました。感謝の気持ちでいっぱいです。

自分にとってトピアでの仕事は全てのことが未経験で新鮮なものでした。時にはカウンターに立って、外国人観光客の皆様に案内をさせていただきました。自分の生まれ育った徳島を紹介し、案内させてもらうことは、本当に心嬉しいことで、また、いろんな国の観光客の方との他愛ない話や、別れ際の皆様の笑顔は、「やっていてよかった。これからも頑張ろう。」と、自分自身をいつも元気づけてくれました。

一年間のトピアでの業務を終え、改めて外国語や異文化を常に身近に感じることができました。真心を持って対応すれば必ず相手に伝わるということを実感でき、自分自身のスキルアップにもなったと感じています。

最後にこの場をお借りして、今までお世話になった方々、職員の皆様にお礼を申し上げますと共に、一年間という短い間でしたが楽しく仕事に取り組めたことに感謝します。またどこかでお会いしましょう。ありがとうございました。



JICAボランティア～いつか世界を変える力になる。～



JICAボランティア事業

日本政府の ODA（政府開発援助）の一環として、独立行政法人国際協力機構（JICA）が実施する事業です。開発途上国または日系人社会で現地の人々と共に生活し、働き、彼らと同じ言葉で話し、相互理解を図りながら、彼らの自助努力を促進するように活動することを特色とした草の根レベルのボランティアです。

JICAボランティアの累計派遣人数が5万人を突破！

1965 年に初めて青年海外協力隊員が派遣されて以来、JICA のボランティア派遣事業は今年で 52 年目です。2017 年 1 月には、ついに累計派遣人数が 5 万人を突破しました。徳島県からもこれまでに 66 ヶ国、298 名もの JICA ボランティアが派遣されました。活動の種類は様々で約 120 種類もの職種があります。

（活動分野：青少年活動、野菜栽培、PC インストラクター、品質管理、環境教育、自動車整備、看護師、助産師、小学校教育、音楽、スポーツなど ※資格・経験を必要としないものもあります！）

<徳島県出身のボランティアの皆さん>



ミャンマー 水泳



ルワンダ 理科教育



ブラジル 高齢者介護

「JICAボランティア2017年度春募集説明会」

&

「くさばよしみさん講演会」を開催します！

日 時：4月22日（土） 13：00－17：00（開場 12：30）

会 場：あわぎんホール4階 大会議室（徳島市藍場町2丁目14番地）

プログラム：13：00～ くさばよしみさん講演会 14：40～ JICA ボランティア募集説明会



（汐文社）

2012年6月ブラジルでの「国連持続可能な開発会議」において伝説的なスピーチを残した「世界でいちばん貧しい大統領」とよばれる南米ウルグアイ第40代大統領ホセ・ムヒカ氏。ムヒカ氏のスピーチの内容を子ども向けに日本語で紹介した絵本「世界でいちばん貧しい大統領のスピーチ」の編者であるくさばよしみさんが今年の春、来日したムヒカ氏を間近で取材した8日間。ムヒカ氏が見て感じた日本や我々日本人に伝えたかった思いなど、来日前後のエピソードをふまえながらご紹介頂きます。本当の幸せのヒントが見つかるかも…。

～ 2017 年度春募集受付期間～
2017 年 3 月 31 日～ 5 月 10 日

Web から応募できるようになりました。
詳しくは JICA の WEB へ！

お 問 合 せ

【JICA 徳島デスク（TOPIA 内） 上西】

電 話：088－656－3303

メール：jicadpd-desk-tokushimaken@jica.go.jp

平成29年度 前期 TOPIA 日本語教室 案内

※時 間：10：30～12：00

※場 所：TOPIA 会議室

※テキスト：「みんなの日本語Ⅰ」または、「みんなの日本語Ⅱ」（第2版）
（2,700円／1冊 CD付き）（自分で買ってください。）
また、季節の行事や、徳島の生活についても、勉強していきます。

※受 講 料：無料

曜日	先生		勉 強 の 内 容	はじまる日
火曜日	三 好	初級 Ⅱ・Ⅲ	《みんなの日本語Ⅱ》26課～50課 可能、意向、命令、禁止、条件、理由、受身、使役、敬語表現など、いろいろな表現を勉強します。日本語サポーターが会話のお手伝いをします。	4/4 (25回)
水曜日	ボラン ティア	グループ レッスン	レベルにあわせてグループをつくり勉強します。 *子どもといっしょに来る人は、となりの部屋に子どもをあずけることができます。保育の先生が子どもと楽しくあそんでくれます。(予約してください)	4/5 (20回)
木曜日	山 田	入 門	《みんなの日本語Ⅰ》1課～ 日本語の基本的な表現をはじめから勉強します。	4/6 (20回)
金曜日	青 木	初 級 Ⅰ	《みんなの日本語Ⅰ》14課～ 動詞のいろいろな活用形、て形、ない形、辞書形などと、それを使った文型を勉強します。	4/7 (20回)
日曜日	J T M の先生	初 級 Ⅰ	《みんなの日本語Ⅰ》14課～ 動詞のいろいろな活用形、て形、ない形、辞書形などと、それを使った文型を勉強します。	4/9 (20回)
	ボラン ティア	グループ レッスン	レベルにあわせてグループをつくり勉強します。	

*グループでの勉強は、前日までに申しこんでください。(当日、急に来た場合、勉強できないことがあります)
またグループの数がかぎられているため、自分のレベルにあわないこともあります。

*休むときは電話連絡をしてください。

火曜日	木 村 他	特別入門	ひらがな・カタカナが読めない人、書けない人のクラス。 あいうえおの勉強と、あいさつ・かず・もののなまえなども勉強します。また、徳島のことについても勉強します。	いつでも はいます
-----	----------	------	--	--------------

(この日本語教室は文化庁事業です)

※連絡先：徳島県国際交流協会 (TOPIA)

〒770-0831 徳島市寺島本町西1-61 徳島クレメントプラザ6F (徳島駅ビル)
TEL : 088-656-3303 FAX : 088-652-0616
E-mail : topia@topia.ne.jp

※台風・大雨・大雪により急にクラスがおやすみになることがあります。わからない時は、電話をしてください。

★阿南市国際交流協会、藍住町国際交流協会、吉野川市国際交流協会、NPO法人美馬の里でも日本語教室を開催しています。

★その他日本語に関する情報は、TOPIAホームページ「日本語教室」のサイトを見てください。(日・英・中有り)

「とくしま外国人支援ネットワーク会員」 募 集 中

当協会では、自主的に外国人の方を支援していただく「地域共生サポーター」のほか、「語学ボランティア」「災害時通訳ボランティア」「ホームステイ・ホームビジットボランティア」「活動支援ボランティア」を随時募集しています。

ぜひとも、災害時通訳ボランティアをはじめとする、この制度に、多くの皆様のご協力をいただき、外国人の方をサポートして頂ければ幸いです。

英語・中国語による多言語電話相談・ 窓口案内を行っています

県内在住外国人および旅行等で来県する外国人の方へ、生活相談や観光案内ができるよう、英語・中国語対応の相談（窓口案内）員を配置しています。

電話での相談の際に通訳が必要な場合には三者通話（トリオフォン）もごございます。是非、ご活用ください。

受付時間：平日 10：00～18：00

T E L：088-656-3320（相談電話）

日時、内容等により依頼にお応えできない場合もありますので、ご了承ください。

TOPIA 賛助会員募集中

当協会では、当協会の趣旨と活動内容にご賛同いただける賛助会員を募集しています。賛助会員は協会の情報や会議室の予約を優先して受けることができます。さらに特典の充実に務めてまいります。

年会費 個人会員 一口 3,000 円 / 年度

団体会員 一口 10,000 円 / 年度

※平成 29 年 4 月から、団体会員が上記の金額に改定されます。詳細は当協会まで。資料をお送りします。

国際理解教育を応援します

国際理解支援講師派遣

楽しく、愉快地に多文化交流 & 異文化理解！

徳島県の国際化の進展に伴い、多文化共生に向けた県民の意識醸成や国際理解教育の推進を目的として当協会では学校や市町村の機関が行う国際交流事業などに講師（県内在住外国人等）を派遣します。

国際理解支援講師募集中

～母国と日本の交流の架け橋となりませんか～

県内の学校や市町村の機関が行う国際交流のイベント等で、国際理解支援講師として母国の文化紹介などをして下さる県内在住外国人の方を募集しています。

在住外国人の方対象の「防災出前講座」を ご活用ください！

当協会では、近年危惧されている南海トラフの巨大地震や、年々増えつつあるその他の自然災害から身を守るために、在住外国人の方を対象にした防災出前講座（言語：やさしい日本語・英語・中国語）を開催し、防災意識の啓発をおこなっています。

* 申込は当協会まで。



防災出前講座の様子

お問合せ： 公益財団法人徳島県国際交流協会

〒770-0831 徳島市寺島本町西 1-61
クレメントプラザ 6F

Tel：088-656-3303

Fax：088-652-0616

URL：http://www.topia.ne.jp

Email：topia@topia.ne.jp